

暑い夏、子どもたちは湯遊びや沐浴で汗を流したり、氷や寒天に触れたりして夏ならではの遊びを思う存分楽しみました。初めての湯遊びに最初は不安で、水着を見るだけで逃げ出していた子どももいましたが、友だちや保育者と一緒に遊ぶ中で徐々に慣れ、水の気持ち良さを感じながら笑顔で楽しんでいました。また、そう組のお寿司屋さんや夏のおたのしみ会にも参加しました。いつもとは違う雰囲気戸惑う姿も見られましたが、お兄さんやお姉さんに優しくしてもらったり、やりとりを楽しんだりと異年齢の友だちとの関わりを楽しんで過ごしました。

しばらくは残暑が厳しいことが予想されますが、過ごしやすい気候になれば散歩や園庭で過ごす機会を持ちたいと思います。ハイハイや歩行等で行動範囲が広がってきているので、室内でも体を動かす遊びをしたり、指先を使ってじっくりと遊べる環境を作ったりし、一人ひとりが安心して様々な遊びを楽しめるように、ゆったり関わっていきたいと思います。



友だちのことが気になり始めたAくんは頭や頬に触れたり、背中をさすったりして嬉しそうに関わっています。友だちが隣で泣き始めると、側にあった玩具を手渡してにこっと笑顔を向ける姿も見られました。友だちを思う優しい気持ちが垣間見え、目に見えない心の成長を感じたひと時でした。

今年の夏も暑い日が続いていますが、子どもたちは湯遊びを楽しみ、気持ちよさそうにしています。初めはプールに入ることが不安で、泣いていた子どもたちも少しずつ慣れて、ジョウロに水を汲んだり、魚のおもちゃを窓にくっつけたりして楽しんでいました。湯遊びの機会を重ねるうちに、手で水をすくったり、足踏みをして水しぶきをあげたりして、ダイナミックな姿も見られるようになりました。夏を通して、変化が見られる子ども一人ひとりの姿に、成長を感じます。

今月は絵の具遊びを楽しむ予定です。チューブに入った絵の具を子どもが握って絞り、きのこやどんぐりの形に切った画用紙の上に出します。絵の具が置かれた画用紙を保育者と一緒に半分に折り、全体をこすります。そしてゆっくりと開き、画用紙に現れる模様を楽しみます。どんな表現がきのこやどんぐりに彩られるのか、楽しみです。

また、園庭や散歩先で少しずつやってくる『秋』を感じながら、虫の声を聞いたり、木の実を拾ったりして自然に触れ、神さまの愛に守られる中で友だちや保育者との関わりを大切にしていきたいと思います。



『おかあさんといっしょ』の「からだダンダン」の体操が大好きな子どもたち。今では「♪からだダンダン...♪」と歌が聞こえると、手で体をトントンして踊る姿が見られ、とてもかわいらしいです。

暑い日が続いた7~8月、プール遊びではゆったりと水に浸かったり、手や足を使って水しぶきを上げたりして、気持ちよさそうに楽しむ姿が見られました。シャワーの雨を降らすと「キャー！」と言いながら手を広げて浴び、水に触れる喜びや心地よさを友だちと一緒に感じていました。色水遊びでは『赤』『青』『黄』の色水を使い、ペットボトルやカップに入れて「ジュースみたいだね」と想像力を豊かにしながら楽しんでいました。色水を容器の中で混ぜ合せると、「〇〇色になった！」と様々な色に変化していく様子にも目を輝かせ、心を動かしていました。

また、毎日みんなで水やりをして「おおきなあれ」と気持ちを込めて大切に生長を見守ってきたミニトマトとピーマンを収穫することができました。給食室で調理をもらい、炒め物の中に入っているピーマンを見つけ「おいしいー！」「(みんなで育てた)ピーマンあった！」などと嬉しそうに話しながら食べていました。

今月は園庭や散歩先で虫や木の実を探したり、巧技台を使って体をたくさん動かしたりして季節の移り変わりを感じながらのびのびと遊びたいと思います。



大雨が降り、雷がゴロゴロと鳴っていた日のこと。窓の外を見ながら…

Aくん「わー雨がいっぱいだ〜」
Bくん「雷さんがゴロゴロ
言っちゃったね」と

見たことや聞こえたことを次々に教えてくれました。また、保育者が「おへそ、取られてない？」と聞くと洋服をめくり、お腹をじっと見て確認しながら「ちゃんとある！」と笑顔の子どもたち。雷も怖がらず元気な子どもに癒されました。